

◎----- 概要 -----◎

メディアの教育的な影響とは何か？20世紀時代に、コンピューターが開発され、業務用から家庭・個人向けに利用用途が広がってきました。当時のメディアは主に、コンピューターの処理技術を表わしていました。その後、インターネットの普及と、テレビを代表とする様々なデジタル家電の登場により、メディア関連の製品そのものや、テレビを代表とするマスメディアの範囲となる商業メディアからの商品PR情報、コンテンツ(動画・音楽等)を含む情報を総称する定義としてメディアと言われってきました。まず、このメディアの歴史的背景と定義を整理します。この授業では、メディアと総称される多くの要素の中で、特に重要なメディアと教育的な影響の領域を取り上げます。メディアからの情報の影響により、人の意識が変化し、人が行動する動機付けとなり地域・社会環境の構築に影響します。人の意識に対して、プラス面・マイナス面を誘導するメディアの影響について考えてみたい。さらに、今の日本人が住まう地域・社会環境とメディアの影響について、グループワークにより考え

ます。高齢化・少子化・コミュニティの破壊・雇用等の地域・社会が抱える課題解決の必要性が高まり、人とメディアと地域・社会環境との関連性は、複雑化すると共に、主体性を持ち、考えなければならないテーマとなっています。情報の発信者・受信者がメディアに対して知らなければならない知識は何でしょうか。正しくメディアリテラシー(情報活用能力)を理解することで、市民が主体的に情報の発信者となる市民社会メディアの必要性が理解されると思います。市民社会メディアの目的と実際の情報発信(放送)の事例を身近な事業者を元に解説します。市民社会メディアが、人の意識に情報を伝えることにより人の意識変革を促し、人間力・地域力を高め、地域・社会の課題を解決する、新しいビジネス手法「ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス」の創出に役立っています。マスメディアを代表とする商業メディアとは対極に位置する市民社会メディアを理解し、その市民社会メディアにより創出されると期待される良好な地域・社会環境を実現する理想的なメディアと教育的な影響の関係性を考えてみたいと思います。

◎----- 到達目標 -----◎(一部抜粋)

\*メディアと称される総理解を基本とし、メディアからの情報に対してのメディアリテラシー(情報活用能力)を高めるとする。

\*地域活性化の担い手として期待されているコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの概論を理解し、地域・社会の課題との関係性を考察することにより、社会性と経済性との調和による新しい地域・社会環境をイメージする。

◎----- 授業計画 -----◎(一部抜粋)

\*メディアと教育的な影響とは何か？

- ・メディアの定義

\*メディアの理解～日本のメディアの現状認識

- ・公共、商業、市民社会の各メディア

\*メディアは誰のものか？

- ・企業主体となっている現状の課題
- ・「面白さ」を求め続けた視聴者意識の弊害

\*メディアリテラシーとは

- ・市民活動、教育の場、生涯教育、地域力、人間力

\*メディアと人と社会環境

- ・コミュニケーション能力、EQ(心の知能指数)とIQ
- ・信頼性、協調性、主体性、受容、合意

\*市民社会メディアの理解

- ・市民が主体的に情報を発信(ふくおかまいCOM)

\*メディアと人間力・地域力との関係性

- ・地域力を高めるメディア

\*地域・社会環境の課題の理解と解決策

- ・地域・社会の課題の理解
- ・地域・社会の課題の解決策

\*市民社会メディアによる可能性

- ・ソーシャルビジネスによる社会的価値創出事業の可能性(社会起業家)
- ・社会性と経済性の調和による新しい社会環境

\*良好な地域・社会環境を考える

- ・理想的なメディアと教育の関係性(まとめ)